

第八十四回帝國議會 大日本育英會法案外二件委員會會議錄(速記)第六回

付託議案 大日本育英會法案(政府提出)(第一四號) 青年學校教育費國庫補助法(改正) 法律案(政府提出)(第一七號) 公立學校職員年功加俸國庫補助法(改正) 法律案(政府提出)(第一八號)

昭和十九年一月二十八日(金曜日)午前十時 五十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 小柳 牧衛君

理事 柏原 幸一君 理事 庄司 一郎君

理事 永山 忠則君

理事 黑田 巖君

理事 高城 憲夫君

理事 圖師 兼貳君

理事 樋口善右衛門君

理事 堀内 一雄君

理事 森田重次郎君

理事 山野 平一君

理事 渡邊 泰邦君

出席國務大臣左ノ如シ

文部大臣 子爵岡部 長景君

出席政府委員左ノ如シ

陸軍少將 那須 義雄君

海軍中將 岡 敬純君

文部省總務局長 藤野 惠君

文部省專門教育局長 永井 浩君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

大日本育英會法案(政府提出)

青年學校教育費國庫補助法(改正)法律案

(政府提出)

公立學校職員年功加俸國庫補助法(改正)法律案(政府提出)

○小柳委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、前

日ニ引續キマシテ質疑ヲ行ヒマス——八角

三郎君

○八角委員 私ハ幸ヒ陸海軍當局ガ御見エ

ニナツテ居リマスカラ、此ノ際御伺ヒ致シ

タイト存ジマス、各前線ニ於キマスル我が

陸海軍ノ將士ガ、凡ユル障碍ト困難ニ打克

チ、而モ困苦缺乏ニ耐ヘテ、克ク頑強執拗

ナル敵ヲ擊破シテ、隨所ニ赫々タル戰果ヲ

擧ゲラレテ居リマスルコトハ、眞ニ國民ノ

感謝感激ニ堪ヘナイ所デアリマス、戰局ガ

擴大セラレ、戰況ガ愈々熾烈ニナリマスルヤ、

全國ノ壯丁モ、又應召セラレタル所ノ人々

モ勇躍軍ニ從ヒツ、アルコトハ、是レ亦我

等銃後國民ノ感激措ク能ハザル所デアリマ

ス、殊ニ昨年徵兵猶豫ノ恩典ガ廢止サレマ

スルヤ、專門學校以上ノ學生生徒ハ、學窓

ヨリ直チニ軍ニ從フヲ得ルニ至リマシテ、

是等ノ若イ人々ハ、今コソ君國ニ報ユルノ

時ハ到レリト、勇躍陸海軍ノ諸部隊ニ入營

又ハ入團致シマスルコトハ、眞ニ盡忠報國

ノ至誠ノ發露デアリマシテ、感激ニ堪ヘナ

イ所デアリマス、實ニ一代ノ盛事、敵國ヲ

震駭サセズニ置カナイ所ノ姿デアリマス、

而モ又其ノ一人々々ノ心事ニ至リマシテハ、

更ニ感激ニ堪ヘナイモノガアリマス、即チ

是等ノ若イ人々ハ、皆此ノ國家未會有ノ大事

ニ直而致シマシテ、我等ノ一身ノ如キハ絲

毫モ顧ミル所デハナク、唯、君國ノ爲ニ此ノ

一命ヲ捧ゲテ國難ニ殉ズルアルノミト、固

キ決意ハ實ニ之ヲ聞ク者ヲシテ感激セシメ

ズニハ置カナイノデアリマス、我等銃後ノ

國民ガ唯、感激致ス所デアリマス、隨ヒマシ

テ是等ノ學徒ガ定メシ空ニ、海ニ、陸ニ、

各、其ノ本分ニ邁進致シ居ルコトトハ存ジ

マス、又是等ノ若イ人々ハ、更ニ進ンデ米國

ノ學徒ト雌雄ヲ決スルノ機會モ、日ニ

近ツキツ、アルコトト信ズルノデアリマス、

銃後ノ期待モ亦甚大デアリマス、何卒此ノ

機會ニ是等學徒ノ入營入團後ノ狀況ニ付キ

マシテ、其ノ實情ヲ承ルコトヲ得マスレバ

洵ニ幸ヒト存ズル次第デアリマス

○那須政府委員 陸軍側ニ於キマシテ、此

ノ學徒ガ入リマシテ狀況ヲ親シク見マシタ

所、又色々ノ報告ヲ受ケマシタ所ニ依リマ

シテ、御尋ネノ點ニ付キマシテ御答ヘ申シ

タイト思ヒマス、學徒ガ今回ノ大命一下、其

ノ懷カシイ校門ヲ去ツテ、皇國ノ危急ニ馳

セ參ジマシタ時ノ烈々タル盡忠報國ノ氣魄

ハ、極メテ大ナルモノガアリマシテ、其ノ

入營ニ當リマシテ、衆望ヲ擔ツテ各方面ノ

歡送ヲ受ケテ入リマシテ以來、先ヅ軍ニ於

キマシテ如何ナル狀態ニ於テ之ヲ指導シテ

居ルカト云フ點カラ申上ゲマス、軍ニ於キ

マシテハ特ニ校門ヲ去ツテ烈々タル氣魄ヲ

以テ入ツタ彼等ノ身上ヲ、各部隊ノ上下能

ク之ヲ拘シテ指導スル、サウ云フコトニ付

キマシテ特ニ注意ヲシ、又サウ云フ狀況並

ニ色々從來ノ教養、體力ト云フヤウナ點カ

テコンナ雜然タルト云フ感ジテ起スノデハ

相濟マヌカラ、能ク兵營ノ環境ヲ整備致シ

マシテ、教育者ニ於キマシテモ特ニ人選ヲ

致シマシテ、部隊ニ依リマシテハ適任者ヲ

改メテ召集スルト云フ風ナコトニ致シマ

シテ、人選ヲ周到ニシテ、心カラ之ヲ迎ヘ

マシタ、入リマシテ以來ノ指導ニ於キマシ

テハ、第一ニ其ノ意氣ト其ノ素質ト教養ヲ

生カシテ、特ニ進歩ヲ早メテ今日ノ決戰ニ

即應スルヤウニ指導スル、斯ウ云フヤウニ

ヤツテ居リマス、モウ一ツハ現ニ九月ニ學

校ガ早メラレテ出マシタ一年先輩ノ學徒モ

入ツテ居ルノデアリマシテ、又一般兵ノ中

ニモ相當色々ナ者ガ澤山居リマシテ、年寄

ツタ家族持チノ者モアレバ色々ナ者ガアリ

マスカラ、サウ云フ者ト眞ニ一體トナツテ

各、團結ヲシ、愉快ニ皇軍ノ一員トシテヤ

ツテ行ケルヤウニト云フ意味ノ指導ニ注意

ヲシテ居リマス、モウ一ツハ彼等ガ大部分

ハ幹部ニナルノダト云フ意味ニ於キマシ

テ、幹部ニナツテカラ其ノ威信ヲ失墜スル

ト云フノデハイケマセヌカラ、サウ云フ點

ニ付テ特ニ注意ヲシテ指導致シマス同時

ニ、飽クマデモソレマデハ一兵カラ叩キ上

ゲルト云フ氣持カラ、就中今日短期間ニ幹

部ノ重責ヲ負ハセネバナラヌト云フ意味カ

ラ、熱鐵ノ鍛鍊ヲ加ヘルト云フ大臣ノ方

針ニ依リマシテ、剛健ナル指導ニ注意ヲ

後ニモ申上ゲルガ體力ガ少シ弱ウゴザイマスカラ、個々ノ體力ニハ細心ヲ注意ヲ拂ツテ指導スル、以上ノヤウナ點ニ付キマシテ特ニ注意ヲ拂ツテ皇軍ノ立派ナ、眞ニ幹部タルニ恥ヂナイ者ニスルト云フコトニ付テ、萬全ヲ期シテ居リマシテ、目下幹部候補生ノ試験ノ最中デゴザイマス

入リマシタ學徒ハドウ云フ状態デアルカト申シマス、入隊以來能ク 陛下ノ股肱タル軍人ニナツタト云フ意志ニハツキリ燃エテ居リマシテ、今日校門ヲ去ツテ時局ノ急ニ馳セ參ジタ重大ナル責務ヲ自覺シ、一方今マデ學徒デアツタト云フ所ノ觀念ヲ拂拭致シマシテ、其ノ名譽ヲ重ンズルト共ニ、飽クマデモ一兵ト云フ心ニ徹シテ居リマシテ、ドンナ卑シイヤウナ事ヤ、ドンナ辛イ事デモ、欣然トシテ積極的ニ進ンデ、私共ガ見マシテモ如何ニモ心カラ愉快ニ、進ンデヤツテ居ルト云フヤウナ感ジヲ受ケルヤウナ氣持デ、凡ユル軍務ニ精勵シテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ、今マデ在學中ニ得マシタ所ノ、修文鍊武ニ依リマシテ涵養セラレマシタ既修ノ學問ノ修得、教練ノ成果ト相俟チマシテ、又衆望ヲ擔ツテ烈々タル氣合ヲ持ツテ來タ其ノ昂揚セル意氣ト今日ノ精勵トニ依リマシテ、其ノ教育ノ進歩ハ極メテ早ウゴザイマシテ、良好ナ状態ニアリマス、精神的ナ方面カラ見マシテモ、私共ガ參リマシテ、今日軍人勅諭ヲ皆言ヘルカト言ツテ訊イテ見マシテモ、全員軍人勅諭ノ奉誦ヲヤレルヤウニナツテ居ル、奉誦ガヤレルト同時ニ、又其ノ精神ニナリ切ツテ

居ル次第デゴザイマス、併シナガラ尙ホ今後サウ云フ點ニ付テ、一層幹部タルノ精神養成ニ付テハ、涵養スベキ餘地ガナイデモアリマセヌガ、サウ云フヤウナ状態デアリマス、唯比較的體位ガ低クゴザイマシテ、殊ニ胸幅ガ稍、一般ニ狭イト云フヤウナ状態デアリマス、隨ヒマシテ機敏ト云フ點ニ付テハ割ニアルノデアリマスレドモ、持久力ガ稍、乏シイト云フヤウナ感ジデ、軍ニ於キマシテモ先程申上ゲマシタヤウニ、健兵保育ト云フ點ニ付キマシテハ特別ノ考慮ヲ要スル状態デアリマス、中ニハ體力ノ關係カラ氣力ニ於テ尙ホ一步ト云フ感ノアル者モアルヤウデアリマス、併シナガラ入營以來既ニ一ヶ月、某隊ニ於キマスル状態ヲ例ニ取りマス、平均ニ「キログラム」増加シテ居ル状態デアリマシテ、健康状態モ細心ノ注意ト相俟チマシテ、益、能ク體力ヲ増強シツ、アル状態デゴザイマス、今後更ニ各上級幹部ノ熱烈適切ナル指導ト、眞ニ之ヲ骨肉ノ至情ヲ以テ後輩ト見テ行ク指導ト、各人ノ烈々燃エルガ如キ報國ノ至誠ト、同時ニ眞ニ剛健、率先一兵ニ徹スルト云フ極メテ謙虛ナ眞面目ナ努力ト相俟ツテ、訓練ヲ重ネテ行キマシタナラバ、今後幾多ノ障礙ハゴザイマセウガ、能ク之ヲ克服シテ、時局ノ要請ニ基ク立派ナ精銳幹部ヲ得ルコトヲ期待シテ居ル次第デアリマス、同時ニ今後共此ノ後ニ續キマスル後輩、現ニ學門ニアリマスル所ノ各學校ノ學徒ニ於キマシテハ、此ノ先輩ノ後ヲ繼グベク、國家ノ要請ニ副フ如ク、一段ト練武ニ精進シ、之ヲ強化シ、就中精神的資質、特ニ意志力、實行力ノ向上、及ビ體力、特ニ基礎體力ノ確立、「スポーツ」的デナクテ、眞ニ軍ノ要員

トシテ他ノ者ニ負ケテ取ラスデ、苦シマスデ濟ムト云フヤウナ立派ナ基礎體力ノ養成ニ付キマシテ希望スル次第デゴザイマス
以上要シマスルノニ、現在ノ學徒ハ時局下非常ニ目覺メテ、軍ト致シマシテモ今後は等ヲ軍ノ幹部ト致シマスニ付テ多大ナル期待ト、又是等ニ對シテ鈔カラザル骨肉ノ至情ヲ以テ指導シテ行キタイト云フ氣持ヲ持ツテ居ル次第デアリマス
○岡政府委員 過日海軍ニ入リマシタ學徒ハ、目下各海兵團ニ於キマシテ、水兵ノ資格ニ於テ基礎的訓練ヲ受ケテ居ルノデアリマス、丁度只今大體試驗ガ終リマシテ、其ノ試験ニ合格シマシタ者ハ豫備學生、豫備生徒トシマシテ、愈、是カラ本格的ノ教育ニ入ルト云フ段階ニ只今アリマス、八角委員並ニ陸軍ノ政府委員カラ御話ガアリマシタ通りニ、是等ノ學徒ハ非常ナ報國ノ信念ニ燃エ立ツテ入ツテ參ツタノデアリマシテ、入隊後モ非常ナ意氣込デアリマスルシ、我々ガ豫想シテ居ツタ以上ノ立派ナ成績ヲ以テ訓練ニ從事シテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ於キマシテハ我々非常ニ感奮ヲシテ居リマスルモノデ、今後之ガ教育ノ後ハ、立派ニ御役ニ立ツ軍人トシテ國家ニ御奉公ガ出來ルト云フコトヲ確信シテ居ルノデアリマス、殊ニ此ノ學生ノミナラズ、一般ノ學生ガ海軍ノ色々ノ方面ニ入ツテ參ツテ居リマスルガ、我々ガ戰前想像シタヤウナ學生ト、今日我々ガ目ノ當リ海軍ニ入ツテ來テ居ル學生ヲ見マスルト、全ク我々ノ豫想外ニ立派ナ精神ヲ持ツテ居ル學生デアリマシテ、斯ウ云フ心強イ狀況ヲ見マシテ、我々ハ一層必勝ノ信念ヲ堅クセラレレル次第デアリマス、今日海兵團ニ入ツテ居リマス

ル學徒アタリモ、個々一々ノ美談ハ色々澤山アルヤウデアリマス、今日此處デ申上ゲマスル美談ヲ持合セテ居リマセヌガ、色々チヨイ／＼耳ニ挾ンデ居リマスガ、澤山美談ヲ持ツテ居リマス、殊ニ父兄アタリガ面會ニ偶、行キマスルト、父兄ノ方ガ其ノ學徒ニ教ヘラレテ、非常ニ感激シテ歸ルト云フヤウナ場面ガ四六時中アルヤウデアリマシテ、我々是等ノ話ヲ聞キマシテ、當局ト致シマシテ非常ニ感激シテ居ルノデアリマス、是等ノ學徒ノ將來ニ期待スル所、非常ニ大キイモノガアルト云フ風ニ信ジテ居リマス、殊ニ今申上ゲマスヤウニ、彼等ノ意氣ト云フモノガ、兎ニ角身ヲ以テ國難ニ殉ジヨウト云フ熱烈ナル盡忠ノ意氣ヲ以テ入ツテ來テ居リマスノデ、隨テ其ノ進歩シタ體位ノ向上ト云フヤウナモノモ著シク、入隊後モキ／＼ト體力ガ良クナリマシテ、今モ陸軍ノ政府委員カラ數字ヲ述ベラレマシタガ、私茲ニ今數字ヲ持合セテ居リマセヌガ、非常ニ體力ガ皆向上致シマシテ、殊ニ視力ノヤウナモノハ段々良クナルト云フヤウナ話モ聞イテ居ルノデアリマスガ、是アタリハ普通ノ状態デ考ヘラレナイノデアリマスルガ、今申上ゲマシタヤウナ個人々々ノ熱烈ナル意氣、之ニ依ツテ總テガ左右サレテ、益、體力モ良クナリ、ドン／＼訓練ノ成果モ進ンデ行クト云フ點ハ、我々ガ普通想像シ得ナイ成績ヲ得テ居ル原因デハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、當局トシテハ非常ニ此ノ學徒ノ態度ニ對シテハ感奮致シ、又將來ニ大キナ期待ヲ持ツテ居ル次第デアリマス

○八角委員 只今陸海軍ノ政府委員ヨリ詳細ナル御話ヲ承リマシテ、定メシ銃後ノ父

兄ハ勿論ノコト、國民一般ハ感謝感激致シテ居ルコトト存ジマス、是レ偏ニ陸海軍御當局ノ入營、入團後ノ學徒ノ適性適質ニ鑑ミラレマシテ、極メテ適切ナル御指導ヲ賜ハリ、其ノ燃ユルガ如キ若キ人ノ精神ヲ彌ガ上ニモ昂揚セシメテ居ラレコトト、洵ニ御當局ノ御苦心ニ對シマシテ感謝ニ堪ヘナイ所デアリマス、又一ツハ此ノ國難ニ當リマシテ、我が國民ノ祖先以來ノ流レテ來テ居リマスル所ノ血ガ茲ニ蘇リマシテ、一層盡忠報國ノ精神ヲ發揮シテ居ルコトト存ズルデアリマス、何卒此ノ上トモ此ノ若キ意氣ヲ一層昂揚セラレマシテ、續イテ參リマスル所ノ學徒ニ對シマシテモ、更ニ一段ト御教育ヲ賜ハリ、此ノ國難ヲ突破致シマスルヤウニ、一段ノ御指導ヲ賜ハラント御願ヒ申シマシテ、私ノ質問ヲ終リマス

○小柳委員長 最上君

○最上委員 私ハ曩ニ文部當局ニ陸軍幹部候補生ノコトニ付テ質問シタノデアリマスガ、幸ヒ陸軍當局ガ御出席デアリマスカラ、重ネテ質疑ヲ致シタイト思ヒマス、ソレハ青年學校卒業生ニ陸軍幹部候補生ノ受驗資格ノ附與ノ件デアリマス、是ハ既ニ文部當局ト折衝セラレテ居ルコトト承知シテ居ルデアリマスガ、其ノ後ノ當局ノ御考ヘハ如何デゴザイマスカ、御承知ノ如ク青年學校卒業生ノ中ニハ、相當成績優秀ナル者ガ多クアルノミナラズ、此ノ時局下皇國ノ爲ニ盡瘁セントシテ、競ツテ候補生トラントスルヤウナ學徒モ多イノデアリマス、然ルニ此ノ制度ノ結果幹部候補生タルコトヲ得ナイノデ、非常ニ落膽セラレルヤウナ人々モ多イノデアリマス、是等ニ付テ當局ハ如何ナル御考ヘガアリマセウカ、此ノ點詳細ニ

御聽キシタト思フノデアリマス

○那須政府委員

今日軍ノ精強ヲ要シマスル際、幹部ノ資質ガ極メテ重大デアルト云フコトハ申スマデモナイコトデアリマシテ、其ノ意味ニ於キマシテ軍ト致シマシテハ良イ者ヲ採ルト云フコトト、入ルマデニ少シデモソレヲ訓練ラシテ、實力ヲ涵養シテ置イテ、短期間ノ教育ノ後デモ立派ナ幹部トシテ、他ノ者ヲ率イテ恥シカラヌダケノ權威ヲ附與スルト云フコトニ付キマシテ努力シテ居ル次第デアリマス、ソコデ青年學校方面ニ於キマスル訓練ノ向上ニ付キマシテハ、多大ノ期待ヲ持ツテ居ルデアリマスルガ、今ヤ各方面トモ色々ナ制約ヲ排シナガラ努力シテ居ラレマシテ、著々其ノ實績ヲ見テ居ル次第デゴザイマス、其ノ中ニハ只今御尋ネノゴザイマシタヤウナ人物ニ於テモ、實行力ニ於テモ、優秀ナ者ガ居ルト云フコトヲ認メテ居ル次第デゴザイマシテ、是ガ適材ノ活用ト云フ點ニ付キマシテモ、軍ト致シマシテ十分考ヘテ居ル次第デアリマス、現ニ最近カラ行ハレテ居リマスル特別幹部候補生ノ中ニハ、青年學校ヲ出タ者モ受驗ラシテ差支ヘナイヤウニナツテ居ルノデアリマス、又一般幹部候補生トシテ志願ヲサスカドウカ、或ハ別途ノ制度ヲ設ケマシテ、青年學校ヲ出タ優秀者ヲ何カ他ノ方法ヲ以テ幹部ニシテ、之ヲ補充ラシテ行カウカト云フ點ニ付キマシテハ、色々ナ因子ガゴザイマシテ、慎重考慮ヲ要スルモノガゴザイマスガ、何等カノ方法ヲ以テ此ノ優秀ナル者ヲ簡拔スル方法ニ付テハ考慮シタイ、斯ウ云フ風ニ思ツテ居ル次第デゴザイマス

○最上委員

今御説明ヲ聽イテ非常ニ心嬉

シク感ジタノデアリマス、現ニ文部當局ニ於テハ青年學校卒業生ニ對シテモ、從來其ノ例ヲ見ナカッタ師範學校入學試驗ニモ、優秀者ニ對シテ當該校長ノ證明アル者ハ之ヲ許可スルト云フヤウナ特別ノ指示サヘ出テ居ルノデアリマス、現在ノ法規ニ依ツテ適用ガ出來ナケレバ、別途ノ方法ヲ講ジテデモ是非トモ速カニ御採用ニナルヤウニ御願ヒ申上ゲタイノデアリマス、唯只今御話ノ如ク、今回新設サレタ陸軍特別幹部候補生ノ中ニハ、是ハ學力程度ハ中學三年程度ト稱シテ、御説ノ如ク青年學校卒業生モ認メルヤウデアリマスガ、唯其ノ特別幹部候補生ガ入隊後ニ於テハ、ドウモ一般中等學校卒業生ト同一ニ列セラレナイヤウナ傾キガアルノデアリマス、實ハ是ハ發表ダケデ、其ノ實施後ノ情勢ハ分リマセヌガ、發表ニ依レバ特別幹部候補生ガ、直チニ一等兵ヲ命ゼラレ、概ネ六箇月後上等兵ニ、更ニ六箇月後兵長ニ進級シ、採用後僅カニ一年六箇月デ現役ノ伍長ニ任官サレル、但シ中等學校ヲ卒業シタ者又ハ特殊ノ技術ヲ習得シタ者デ、技能特ニ優秀ナ者ハ伍長ヲ飛ビ越エテ一躍シテ軍曹ニ任官サレル途モアルト云フヤウニ規定サレテ居ルヤウデアリマス、此ノ中學卒業生ノ所ニ、青年學校本科卒業生モ一躍軍曹、曹長ニ昇進ノ途ヲ開クヤウナ方法デモアリマセウカ、其ノ點ヲ伺ヒタイノデアリマス

○那須政府委員

只今御尋ネノアリマシタ點ニ付キマシテハ、現在中學校ヲ出マシタ者、或ハ專門學校ヲ出テサヘ志願スル者モナイコトモナイ、斯ウ云フモノニ付キマシテ、同ジ中學ノ三年程度ノ者ガ入ルト同

一ニ取扱フト云フコトハ適切デナイト云フ考ヘデ、サウ云フ者ニ對シマスル途ヲ開イタノデアリマス、併シナガラ、ソコニモ書イテゴザイマスルヤウニ、誰ガ見テモ眞ニ實力ガソレト比肩シ得ルト云フ者ニ付テハ、考慮ノ餘地ガナイト云フ意味デアリマセヌガ、他方先程申シマシタヤウニ相當ナル程度ノ者ヲ收容スル途トシテハ、多少ソコニ考慮ヲ要スル關係上差ヲ付ケテ居ルト云フノガ實際ノ實情デゴザイマス

○最上委員

只今政府委員ノ御答辯デハ、中等學校ノ卒業生其ノ他特殊ノ伎倆ヲ習得シタト云フノハ、勿論青年學校卒業生ニシテ成績優秀ニシテ、軍事教練等ニ於テモ缺クル所ノナイ者ハ、是レ亦軍曹ニ飛ビ越エテ任官シ得ラレト云フヤウニ解釋シテモ差支ヘナイノデアリマスガ

○那須政府委員

實力ガ眞ニサウ云フモノガアレバ、サウ云フ途ハアリマス

○最上委員

私ハ以上デ大體分リマシタ、ドウカ幹部候補生ノ別途ノ採用方針、又青年學校卒業生ノ優秀ナル者ヲ同時ニ特別幹部候補生ニ於テモ、入隊一箇年後ニ於テハ、軍曹トシテ採用セラレ、ヤウ特ニ希望シテ私ノ質疑ヲ終リマス

○庄司委員

只今最上委員ヨリ大體私ノ御伺ヒ申上ゲタイト考ヘテ居リマシタコトガ質疑サレマシテ、洵ニ有難イ御答辯ガアラレタノデゴザイマスガ、過般陸軍ノ各聯隊區司令官ガ、ソレノ道府縣ニ於テ中等學校長ヲ集メラレ、陸軍特別幹部候補生志願ニ關スル懇談會ヲ開催サレマシタヤウデゴザイマス、其ノ際ハ中等學校長ダケノ招集デゴザイマシタ、中等學校ノ卒業生ニシテ成績ノ優秀ナル者、當該學校長ノ推薦ニ係ハルモノハ學術ノ試験ハ免除シ、體格ノ考

查ダケニ依ツテ採用スルト云フ旨ノ御懇談
ガアラレタヤウニ漏レ承ツテ居リマス、私
ハ青年學校生徒或ハ卒業生ノ前途ニ、希望
ト光明ヲ把握サセル意味ニ於テ、又青年學
校ノ獎勵ノ爲ニモ、是非先程來陸軍ノ政府
委員ノ方ノ御答辯ニアラレマシタヤウニ、
青年學校長ノ推薦ヲサレタ學術或ハ識見、
人格等ニ於テ優秀ナル適格者ヲ、他ノ中等
學校卒業生ガ中等學校長ニ推薦サレタ場合
ニ於テ無試験デ體格檢査ノミデ御採用ニナ
ルト同様ナ趣旨ニ於テ、青年學校上級生或
ハ卒業生ニ對シマシテ、左様ナ進路ヲ開イ
テ戴クヤウナ特典ヲ與ヘテ下サルコトヲ、
一層御考慮ヲ御願ヒ申上ゲタイト思フノデ
アリマス

尙ホ青年學校ノ上級生並ニ卒業生ニ關シ
マシテ、海軍御當局ニ對シテモ御願ヒガゴ
ザイマス、海軍ノ豫科練關係ノ志願ニ於キ
マシテハ、青年學校ノ生徒ト雖モ、乙種ノ
豫科練ノ志願ガ許サレテ居ルヤウニ伺ツテ
居リマスガ、青年學校ノ最上級生、或ハ本年
度三月ノ卒業生ノ内、成績ノ優秀ナル適格
者ヲ當該學校長ノ推薦ニ依ツテ、甲種豫科
練ノ受験者トシテノ資格ヲ與ヘテ下サル、
新シイ方途ヲ開拓シテ戴クコトガ出來ナイ
デアラウカ、願ハクハ左様ニシテ欲シイ、
陸海軍共ニ青年學校ノ生徒並ニ卒業生ノ前
途ニ、明ルイ希望ト光明ヲ附與シテ戴キタ
イト云フコトヲ私ノ信念ト致シマシテ、又
皇國青少年ノ燃エルヤウナ愛國心ノ上カ
ラ、サウ云フヤウナコトヲ期待シテ居ル意
味ニ於テ御要請申上ゲテ已マナイノデアリ
マス、尙ホモウ一ツ此ノ際學制改革ニ依リ
マシテ、從來各種學校令ト云フ規則ノ下ニ
開校ヲ許サレテ居リマシタル所ノ市町村立

ノ夜間中學ト云フモノガゴザイマス、今回
學制ノ改革ニ依ツテ各種學校令ニ依ル夜間
中等學校ガ解消サレマシテ、悉ク文部大臣認
可ノ下ニ中等學校令ニ依ル夜間中等學校ニ
ナリマシタコトハ、御當局御承知ノ通りデ
アリマス、全國ニ夜間中等學校ノ數ガ約六
十程アルヤニ承ツテ居リマスガ、是等ノ夜
間中等學校ノ多クノ生徒ハ、陸海軍ノ工廠方
面、其ノ他産業戰士トシテ働イテ居ル勤勞
青少年ガ其ノ大部分ヲ占メテ居ルヤウデゴ
ザイマス、是等ノ中等學校令ニ依ル夜間中
等學校生徒ニモ、廳テ國家ノ干城タルベキ
素地ヲ作ツテ戴ク意味ニ於テ、若干陸軍ニ
於カレテハ配屬將校ヲ御廻ハシ下サツテ居
ル學校モ五ツ六ツアルヤウデアリマス、大
部分ノ新シク中等學校令ニ依リ文部大臣ノ
認可ヲ得ラレタ公立中等夜間中學ニ於テハ、
配屬將校ノ御配屬ガ今以テナイヤウニ承ツ
テ居リマス、陸軍ノ將校ノ方々モ非常ニ御
多忙デゴザイマス、或ハ中學校、或ハ農學
校、五六ノ學校ヲ掛ケ持ツテ居ラレヤウ
ナ忙シイ状態ヲ地方ニ於テ能ク承知シテ居
リマスガ、比較的學問ニ於テ機會均等ニ惠
マレテ居ラナイ是等産業戰士トシテ働キ、
或ハ陸海軍工廠ニ於テ工員トシテ働キ、夜
間ニ於テ中等學校ニ勉學ヲシテ居ル夜間中
等學校生徒ノ諸君ノ上ニモ、何卒配屬將校
ノ御配置ヲ御願申上ゲテ、將來是レ亦幹部
候補生タリ得ル素地ヲ養成スル意味ニ於テ、
特段ノ御配慮ヲ御願ヒ申上ゲタイト思フノ
デゴザイマス、陸海軍當局ノ御意見ガゴザ
イマスナラバ、簡單ニ承リタイト存ジマス

○那須政府委員 軍ト致シマシテハ、勤勞青
年ノ學ンデ居ル青年學校、夜間中學等ニ付キ
マシテ同情アル氣持デ見テ居リ、又他方一
人ト雖モ將來軍ノ一員トシテ來ルモノニ付
キマシテ、努メテ戦力ヲ昂揚シテ戴キタイ
ト云フ氣持カラ、軍事的能力ノ向上ト云フ
點ニ付キマシテハ、出來ルダケヤツテ行キ
タイト云フ氣持ニ於テハ、他ノ正規ノ晝間
ノ各學校トハ少シモ變ル所ハナイ、併シテ
ガラ先程冒頭ニ申上ゲマシタヤウニ、軍ト
致シマシテハ今日苛烈ナル戰況ニ於テ幹部
トナリマシテ——今日ハ一般兵ノ中ニモ昔
日ノ比デナイヤウナ色々ナ、極端ニ言ヘバ
博士デモ兵隊ニ居ルト云ウヤフナ狀況デゴ
ザイマシテ、之ヲ率キル幹部ト致シマシテ
ハ、ソレ相當ナル權威ヲ持ツテ居ラナケレ
バナリマセヌ、其ノ權威ヲ急速ニ付ケル爲
ニハ或ル一定限度ノ基礎ノ力ガゴザイマセ
ヌト、トテモナリ得ナイノデアリマス、學校
教練振作ノ御蔭デ、初メニ申上ゲマシタヤ
ウニ先般學徒ガ出マシテ、良好ノ成績ヲ舉
ゲテ居ル次第デアリマスガ、隨ヒマシテ軍ト致シ
マシテ教練ノ檢定ヲ與ヘテ幹部候補生ノ資
格ヲ得ルニハ、概ネ晝間ノ中等學校ト同等程
度ノ合格標準ニ準ズル實力ヲ備ヘタ場合ニ
於テ幹部候補生タルノ資格ヲ與ヘルト云フ
考ヘデゴザイマス、ソコニ自ラ一定ノ限度
ガアルノデアリマス、ソコデ更ニ分ケテ申上
ゲマス、最初ニ御尋ネデゴザイマシタ特
別幹部候補生ニ、中等學校ニ於テハ中等學
校長ニ或ル一定ノ率ヲ以テ推薦ヲ御願ヒシ
テ居ルガ、青年學校ハドウカト云フ御尋ネ
ニ對シマシテハ、元來特別幹部候補生ニ青
年學校ヲ出タ者ノ優秀者ヲ許可スルコトハ、
勿論差支ヘハゴザイマセヌガ、無試験デ推
薦フスルト云フ點ニ付キマシテハ、大體主
力ハ何ト申シテモ、青年學校ノ關係ノ者ニ
ハ氣ノ毒デアリマスガ、中等學校ノ三年程度

以上ノ力ガナケレバナラスノデアリマシテ、
サウ云フ關係上、自然ニ無試験ト云フ譯ニ
モ參リマセヌシ、同時ニ中等學校長ヲ主體
トシテ、色々實情ヲ話シマシタノモ、主體
ハ自然ニサウ云フ方面ニナルカラ、總テニ
手ヲ掛ケテ御願ヒヨスルト云フ餘力ガナイ
關係上、サウ云フ風ニシタト云フコトヲ諒
承シテ戴キタイトデアリマス

次ハ夜間中學ニ配屬將校ヲ附ケテ、此ノ
勤勞青年ヲ益々實力ヲ付ケテヤリ、將來軍ノ
幹部タルノ實力ヲ付ケテヤルヤウニ親心ヲ
致シテヤル、斯ウ云フ點ニ付キマシテモ御尤
モナ御意見デアリマシテ、之ニ對シマシテ
ハ軍ト致シマシテハ、配屬將校ヲ附ケルト云
フコトハ教練檢定資格ヲ與ヘルト云フコト
デアリマス、別ニ教練ノ能力ヲ付ケテヤル
ト云フ點ニ付キマシテハ、現在デモ青年學
校ニ最寄ノ配屬將校ガ指導援助ヲ與ヘルヤ
ウニ指導シテ居リマスガ

〔委員長退席、永山委員長代理著席〕

近ク更ニ文部當局ニ於テモ、學校教練ノ向
上ト云フコトヲ期セラレル其ノ機會ニ於
キマシテ、軍ニ於キマシテモ第一線ノ乏
シイ中カラ何トカ致シマシテ、其ノ重要
性ニ鑑ミマシテ、配屬將校ヲ増シテ教練
ノ充實力ヲ増スコトニシテ居リマス、其
ノ機會ニ積極的ニ青年學校、夜間中學、
國民學校等ニ對シマスル軍事的能力ノ向上
ニ付キマシテモ、更ニ指導援助ヲ向上シタ
イ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマ
ス、ソコデサウ云フ風ニハ致シマスルガ、
他方夜間中學ニ於キマシテモ、眞ニ幹部タ
ルノ資格ガ與ヘテ差支ヘナイト云フ施設ト
教育ノ狀況ガ認めラレマスルモノニ付キマ
シテハ、軍ト致シマシテハ、配屬將校ヲ附

ケル決心居ルノデアリマシテ、目下ノ所
ハ夜間シカ教練ヲヤツテ居ラレナイ所ニ付
キマシテハ、何ト申シマシテモ教練ノ性質
上、未ダ眞ニ軍ト致シマシテ幹部ノ候補生
タリ得ル決定ノ資格ヲ與ヘルノニハ、所期
ノ點ニマデ達シテ居リマセヌカラ、配屬ガ
困難ナ狀況デアリマセガ、今夜夜間ダケヤ
ラレル所ニ付テモ、十分所要ノ程度ニ達シ
マスレバ考慮スル積リデアリマセガ、現在
ニ於キマシテ夜間學校デモ晝間教練ヲヤツ
テ居リマシテ、我々ガ見マシテモ所期ノ程
度ニ達シテ居ルト云フモノニ付キマシテハ、
配屬スルコトニ致シテ居リマス、隨ヒマシ
テ目下概ネ晝間ノ學校ト同ジ合格標準ニ達
シテ居ルダラウカドウカト云フ點ニ付キマ
シテ調査中デアリマシテ、是ナラ宜イト云
フヤウナ學校ガ、二校アルヤウデアリマ
セガ、現在ノ所ハマダ附ケテハ居リマセヌ
ガ、其ノ向上次第ニ依ツテ附ケルト云フ方
針ハ確立致シテ居ル次第デゴザイマス

○岡政府委員 只今御質問ノ豫科練習生ノ
甲種、乙種ノ問題デアリマセガ、海軍ト致
シマシテモ、能力アル者ハ十分ニ其ノ能力
ヲ發揮サセルヤウニ使フ、所謂適材適所主
義ヲ執ルト云フコトハ最モ必要ナコトデア
リマシテ、能力素質ノアル者ヲ出來ルダケ
教育シテ、出來ルダケ有用ニ使フト云フコ
トハ當然デアリマシテ、特別ナ者ニ對シマ
シテハ、特別ナ措置ヲ講ズルコトハ當然ヤ
リ得ルコトデアリマス、今御話ノ問題ニ於
キマシテモ、更ニ十分研究ヲ致シマシテ適
材適所主義ヲ徹底サセルヤウニシテ行キタ
イ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、尙ホ甲
種、乙種ノ問題ハ海軍自體ニ於キマシテモ、
將來多少研究ノ餘地ガアルデアリマシテ、

今後ニ於キマシテモ只今ノ御説ノ點ヲ參考
ト致シマシテ研究シテ行キタイト思ツテ居
リマス

○高城委員 丁度軍ノ方ガ御在席デアリマ
スノデ、此ノ際地方デ常ニ問題ニナツテ居
ルコトニ付キマシテ、少シク御尋申上ダ
タイト思ヒマス、青年學校ニ於キマスル軍
事教練ニ付キマシテ、實ハ皆ヤリタイト思
ツテ一生懸命張切ツテ居ルデアリマセガ、
色々ノ點デ不便ガアリマス、第一ノ不便ハ
所謂教練ノ指導員デアリマセガ、此ノ教練
ノ指導員ヲモウ少シ機動的ニ運用致シマス
ル爲ニ、中尉ノ方ハ中尉トシテ、又上等兵
ノ方ハ上等兵トシテ現官ノ時ノ待遇ヲ以テ
軍ノ方ニ於テ之ヲ要員セラレル、斯ウ云フ
形ヲ御執リニナツタラ如何デアラウカ、サ
ウシテ在郷セラレタ場合ニ、逐次其ノ位置
ニ於テダグンノ入ツテ隸屬シテ行カレル、
サウシマシレバ、必ズシモ配屬將校トシテ
特定ノ人ヲ任用致シマセヌデモ、自ラソコ
ニ流レルモノガアルノデハナイカ、現在ノ
所ハ僅カノ、殆ド問題ニナラナイ手當デ從
事シテ戴イテ居リマスル關係上、非常ニ不
安定ナ狀態ニアリマス、デスカラ是ハ一ツ、
抜本的方策ヲ軍ノ方デ御立テニナリマシテ、
陸海軍デアリマセウトモ、又將校下士デア
リマセウトモ、指導員トシテ入ラレマス方
ハ、文部省トノ關係ノ上ニ於テハ勿論サウ
云フ風ナ手續ヲスレバ宜イ譯デアリマシテ、
軍ノ方デ何トカヤツテ戴クコトハ出來ナイ
カト云フコトガ、實際家ノ多年ノ要望デア
リマス、詰リ留マツテ戴ケナイノデアリマ
ス、ソレトヤハリ何トナシニソコニ教育ノ
低下ガ見ラレル譯デアリマス

第二ノ問題ハ裝備ノ問題デアリマセガ、實
ハ文部當局ニモ過日御尋ネヲ申上ダケタ通
リ、例ヘバ銃器ノ問題デアリマセガ、銃器
ヲ整備セヨト云フコトヲ、査閱ノ時ニハ非
常ニヤカマシク言ハレルデアリマス、其
ノ方ノ係リノ方、査閱官ハサウ仰シヤル、
所ガソレヲ責任ヲ執ツテ其ノ事ヲヤラナケ
レバナラナイ學校當局トシマシテハ、其ノ
銃器ヲ手ニ入レルコトガ出來ナイ、逆立チ
ヲシテモ出來ヌノデス、探サナクテハ駄目
デヤナイカト云フコトデアリマセケレドモ、
今頃何處ニ行ツテ探シタラ宜イノカ、其ノ
方ノ連絡係、懇ヘ所ヲ實ハ軍ナリ縣ナリニ
持チタイト云フコトナンデ、何カ鹵獲品ア
タリヲバ何トカウマク配分シテ戴クヤウナ
コトハ出來ナイモノデアラウカ、金ハアル
ノデス、何處ノ學校ト雖モ其ノ設立者側ニ
於キマシテハ、現在ノコトデアリマセカラ
金ハ豊富デアル所ガ昨年度豫算ヲ立テ、モ、
一昨年立テテ豫算モ遂行ガ出來ナイ、現物
ガナイ、之ニ關シテハ現物モサルコトナガ
ラ、之ニ關スル機構ヲ整備シテ戴イテ、サ
ウシテ其處ノ所ヘ持ツテ行ツタラ、何年ノ
申込ハドウ云フ風ニナルト云フコトノ見透
シガ利クヤウニ、一ツ御取計ヒガ願ヒタイ
ノデアリマス

ソレカラ第三ハ私立ノ青年學校ニ對シマ
シテ、教育ノ實情ヲ査察セラレル必要ガア
ルト云フ點ニ付キマシテ、實ハ過日文部當
局ニモ御願ヒヲ申上ダケテ此處デ採擇シテ戴
イタノデアリマセガ、其ノ私立青年學校ノ
中ニハ現場ノ仕事ノ急ナル餘リ、學校ダケハ
青年學校ニナツテ居リマスレドモ、事實
ハヤツテ居ナイ、大キイ所デモ比例カラ申
シマストヤハリ同ジデセウガ、小サナ青年學
校ニナルト銃器ナドハナイ、明後日ガ査閱

ダト云フ時ニハ大騒ギデ、公立ノ青年學校
其ノ他ニ銃器ノ借用ニ行ク、サウシテソレ
ヲ持ツテ歸ツテ俄カニヤルト云フヤウナコ
トニナツテ居リマセガ、ソコヲモ何トカ一
ツ適當ナ組織ニ依ツテオヤリニナツテ、先
程御話ノヤウニ、基礎ノ場面ニ於テ軍ノ要
員トシテノ適材ヲ完全ニ鍊成スルト云フコ
トニ付テ、モウ少シ下ノヤリタイ氣持ヲ適
當ニ指導シテ戴クヤウナ機構ヲ必要トスル
ノデハナイカ、今ノ所デハ下ノ盛上ル氣持
ガ、何ダカポント拔ケテ行カヌヤウナ氣持
ガアルト云フノガ實情デゴザイマス、以上
ニ付キマシテ御意見ヲ御伺ヒ致シマス

○那須政府委員 青年教練指導員ノ居付カ
ニ關係上、何カ之ヲ軍ノ配屬將校ノヤウナ
風ニデモシテヤツタラドウカト云フ御尋ネ
ニ付キマシテハ、洵ニ申サレル通り、軍デ
モ色々苦慮シテ居ル點デゴザイマス、何ト
カ指導員ノ向上ニ考慮シナケレバナラヌト
思ヒマスガ、全國ノ青年指導員ト云フコト
ニナルト中々大變ナモノデアツテ、之ヲ一
一軍ガ持ツト云フコトモ容易デナイ、又ソ
レガ終始教練バカリヤツテ居ル譯デモゴザ
イマセヌカラ、中々難點ガアルノデアリマ
ス、ソコデ先程申上ダケタヤウニ、差當リハ
學校配屬將校ヲ増加シテ、青年學校ノ教練
指導ヲ強化シタイト云フノガ、取敢ズ打ツ
タ手デゴザイマス、全般ノ問題ニ付キマ
シテハ、今後トモ關係當局ト相協力シテ、
其ノ向上ニ付テ更ニ努力シナケレバナラヌ
ト思ツテ居ルノデアリマシテ、今直チニ全
部軍ノモノニシテシマフト云フコトモ、軍
トシテ此處申上ダケ兼ネル點デゴザイマス、
第二ノ銃器ノ點ニ付キマシテ、査閱官等ガ
參リマシテ、銃ヲモツト手ニ入レロト言ウ

第一ノ問題ハ裝備ノ問題デアリマセガ、實
ハ文部當局ニモ過日御尋ネヲ申上ダケタ通
リ、例ヘバ銃器ノ問題デアリマセガ、銃器
ヲ整備セヨト云フコトヲ、査閱ノ時ニハ非
常ニヤカマシク言ハレルデアリマス、其
ノ方ノ係リノ方、査閱官ハサウ仰シヤル、
所ガソレヲ責任ヲ執ツテ其ノ事ヲヤラナケ
レバナラナイ學校當局トシマシテハ、其ノ
銃器ヲ手ニ入レルコトガ出來ナイ、逆立チ
ヲシテモ出來ヌノデス、探サナクテハ駄目
デヤナイカト云フコトデアリマセケレドモ、
今頃何處ニ行ツテ探シタラ宜イノカ、其ノ
方ノ連絡係、懇ヘ所ヲ實ハ軍ナリ縣ナリニ
持チタイト云フコトナンデ、何カ鹵獲品ア
タリヲバ何トカウマク配分シテ戴クヤウナ
コトハ出來ナイモノデアラウカ、金ハアル
ノデス、何處ノ學校ト雖モ其ノ設立者側ニ
於キマシテハ、現在ノコトデアリマセカラ
金ハ豊富デアル所ガ昨年度豫算ヲ立テ、モ、
一昨年立テテ豫算モ遂行ガ出來ナイ、現物
ガナイ、之ニ關シテハ現物モサルコトナガ
ラ、之ニ關スル機構ヲ整備シテ戴イテ、サ
ウシテ其處ノ所ヘ持ツテ行ツタラ、何年ノ
申込ハドウ云フ風ニナルト云フコトノ見透
シガ利クヤウニ、一ツ御取計ヒガ願ヒタイ
ノデアリマス

第一ノ問題ハ裝備ノ問題デアリマセガ、實
ハ文部當局ニモ過日御尋ネヲ申上ダケタ通
リ、例ヘバ銃器ノ問題デアリマセガ、銃器
ヲ整備セヨト云フコトヲ、査閱ノ時ニハ非
常ニヤカマシク言ハレルデアリマス、其
ノ方ノ係リノ方、査閱官ハサウ仰シヤル、
所ガソレヲ責任ヲ執ツテ其ノ事ヲヤラナケ
レバナラナイ學校當局トシマシテハ、其ノ
銃器ヲ手ニ入レルコトガ出來ナイ、逆立チ
ヲシテモ出來ヌノデス、探サナクテハ駄目
デヤナイカト云フコトデアリマセケレドモ、
今頃何處ニ行ツテ探シタラ宜イノカ、其ノ
方ノ連絡係、懇ヘ所ヲ實ハ軍ナリ縣ナリニ
持チタイト云フコトナンデ、何カ鹵獲品ア
タリヲバ何トカウマク配分シテ戴クヤウナ
コトハ出來ナイモノデアラウカ、金ハアル
ノデス、何處ノ學校ト雖モ其ノ設立者側ニ
於キマシテハ、現在ノコトデアリマセカラ
金ハ豊富デアル所ガ昨年度豫算ヲ立テ、モ、
一昨年立テテ豫算モ遂行ガ出來ナイ、現物
ガナイ、之ニ關シテハ現物モサルコトナガ
ラ、之ニ關スル機構ヲ整備シテ戴イテ、サ
ウシテ其處ノ所ヘ持ツテ行ツタラ、何年ノ
申込ハドウ云フ風ニナルト云フコトノ見透
シガ利クヤウニ、一ツ御取計ヒガ願ヒタイ
ノデアリマス

タコトモアルカト思ヒマスガ、サウ云フ
點ハ、中ニハ本當ニ熱心ナ學校當局モ居ラ
レマスルガ、又一方サウデモナイヤウナ方
モアツタリ致シマスモノデスカラ、サウ云
フコトモアツタカト思フノデアリマス、ソコ
デ確ト記憶ハシテ居リマセヌガ、教練銃ヲ
取扱フ爲ノ會社モ、今度統制的ニ出來タヤ
ウデゴザイマシテ、ソレト更ニ關係ノ學校、
或ハ地方廳ノ關係方面各、手ヲ結ンデヤリマ
スレバ、餘程其ノ機構ハ樂ニ連絡ガ出來ル
ノデハナイカ、斯ウ云フヤウニ思ヒマス、
尙ホ物ニ付キマシテハ鹵獲銃デモト云フ御
話デゴザイマシタガ、ソレモアリサヘスレ
バ出來ルダケ努力致シマスルガ、中々内地
ニハサウ思フヤウニ參ツテ居リマセヌモノ
デスカラ、其ノ邊御諒察ヲ御願ヒ致シマス

次ニ青年學校ノ私立ノモノニハ少シ怪シ
イヤウナモノガアルト云フ御話デゴザイマ
シタガ、之ニ對スル指導ニ付キマシテハ、
私共モ今後一層注意ヲ致シテヤツテ行キタ
イト考ヘテ居リマス

○高城委員 第一ノ問題ニ付テハ何時頃カ
ラ、ドウ云フヤウナ形ニナルノデアリマス
カ

○那須政府委員 先程申シタ配屬將校ノ青
年學校ニ對スル指導ト云フヤウナコトヲ強
化スルノハ、成ベク速カニヤリタイト思ツ
テ居リマスガ、更ニ全般的ニ教練指導員ノ
待遇ヲ向上スルトカ、或ハソレヲドウ云フ
ヤウニシテ外ニ逃ゲヌヤウニ教練ニ專念シ
テ行ケルヤウニスルカト云フヤウナ具體的
ノコトヲ何時カラドウ云フヤウニヤルト云
フコトハ、マダの確ニナツテ居リマセヌ

○高城委員 其ノ點ニ付テハ是非兵籍ノ方
ニ於テモ、何等カノ形デ工夫シテ戴キマシ

テ、喜ンデオヤリニナルヤウナ風ニ御考慮
ヲ煩ハシタイ、第二ノ點ハ然ラバ地方ノ學
務課ニソレニ關スル一ツノ主管事項トシテ、
文部省ト協力ノ上ニ資料關係ヲオヤリ下サ
ルト云フコトヲ、機構トシテ明確ニ御立テ
ニナルカドウカト云フコトヲ伺ヒタイ

○藤野政府委員 只今兵務局長カラ御答ヘ
ノアリマシタヤウニ、教練用銃器ニ付テハ、
全國統一セラレタ統制會社ガ出來タノデア
リマス、ソレデ十八年度物動計畫上其ノ資
材ノ確保ガ出來マシテ、是ハ各府縣ノ教學
課ガ師團所在地ハ師團兵務部、師團ナキ所
ハ聯隊區司令部ト御相談ノ上、各學校ノ所
要數量ヲ纏メ、其ノ所要量ニ基キマシテ
我々ノ方カラ統制會社ニ連絡致シ、統制會
社ハ經由シタ數量ノ銃器ヲ製作シテ、陸軍
省ト文部省デ御協議シタ割合ニ依ツテ地方
ニ配給致スコトニナツテ居リマスノデ、高
城サン御心配ノ點ハ、十八年度下期カラ
逐次解消セラレテ行クコトニ相成ラウト思
フノデアリマス、併シ是ガ確保ニ付キマシ
テハ、今後モ尙ホ努力シテ御期待ニ副フヤ
ウニ致ス考ヘデアリマス

○高城委員 大變諄イヤウデアリマスガ、
サウスルト地方ハ教學課ソレヲ所管事項
トシテ取扱ヒ、本省デハ資料課デ取扱フト
云フノデスカ

○藤野政府委員 中央デハ陸軍省ト連絡致
シ、地方ニ於テハ、教學課ト師團兵務部若
シクハ聯隊區司令部ト連絡ヲ取ルコトニ相
成ルト思ヒマス

○小柳委員長 此ノ儘休憩致シマス
〔永山委員長代理退席、委員長著席〕
午前十一時四十八分休憩

午前十一時五十六分開議
○小柳委員長 是ヨリ開會致シマス、別ニ
御質疑ハゴザイマセヌデセウカ

○堀内委員 私ハ總理大臣ニ御伺ヒ致シタ
デ其ノ機會ヲ得ラレマセヌノデ、願ハクハ
文部大臣ヨリ御取次ギ戴クト同時ニ、國務
大臣ト致シマシテ私ノ質問ニ對シマスル文
部大臣ノ御抱負ヲ御伺ヒ致シタイト思フノ
デアリマス、申スマデモナク時局下殊ニ戰
況ノ苛烈化ニ伴ヒマシテ、國內思想戰ハ益々
深刻化スルモノト考ヘルノデアリマス、他
方生産ノ増強ノ問題モ結局ハ人ノ問題デア
リマス、サウシテ人ノ精神ノ問題デアリ、
更ニ申セバ思想ノ問題デアルト云フ所ニ落
着イテ參ルノデアリマシテ、幸、以テ今後ニ
於ケル思想戰ト云フモノハ、非常ニ戰局ノ
上ニ重大ナル影響ヲ來タスノデハナイカト
思フノデアリマス、此ノ意味ニ於キマシテ、
本委員會ニ於テモ今日マデ度々熱心ニ檢討
サレタノデアリマスガ、私ハ此ノ思想戰線
ニ於キマシテ我が國ノ思想戰線ノ現狀ヲ
見マスルト、若干不十分ノ點ガアルノデハ
ナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ
第一ハ、思想戰ノ當局デアリマスル文部省
ヲ中心トシタ此ノ方面ノ機構ヲ、モツト
擴大致ス必要ガアル、第二ハ動モスレバ思
想戰線ニ統一ヲ缺クヤノ疑ヒガアリマス
ルノデ、此ノ方面ニ於キマシテモ更ニ強化
シテ行ク必要ガアル、斯様ニ思フノデアリ
マス、第一ノ問題ニ付キマシテハ、大臣カ
ラ色々ナ機會ニ於テ御抱負ヲ御伺ヒ致シマ
シタガ、私共ハ大臣ノ御抱負ノ實現ニ對シ
テ深ク期待申上ゲル次第デアリマス、第二
ノ問題タル思想戰線ノ統一ノ問題ニ付キマ

シテハ、私茲ニ具體的ナ一、二ノ案ヲ申上
ゲテ御批判ヲ仰ギタイト思フノデアリマス、
平時ノ行政體制ヲ戰時ノ統帥體制ニ移シマ
スルニ付キマシテ、私ハ二ツノ方法ガ現在
實施サレテ居ルト思フノデアリマス、其ノ
一ツハ、過般御採用ニナリマシタ軍需省ノ
創設、竝ニ運輸通信省ノ創設ト云フヤウナ
風ニ、平時行政上各省ニ屬スル業務中、關
係ノモノ總テ一人ノ大臣ノ下ニ纏メテ
シマフト云フ行キ方、是ハ最モ徹底シ
タ行キ方ダト存ズルノデアリマス、
第二ノ問題ハ現在武力戰ノ面ニ於テ實行サレ
テ居リマスル如ク、行政組織ノ外ニ統帥組
織ヲ作ツテ、サウシテ關係ノ行政組織ヲ其
ノ統帥ノ方面ニ於テ掌握指揮スルト云フノ
デアリマス、即チ陸軍省ト海軍省ト大本營
トノ關係ハ、此ノ後者ニ屬スルト存ズルノ
デアリマス、更ニ先般國土防衛ニ關シマシ
テ、内務省ニ防空總本部ガ出來マシタ如キモ、
此ノ思想ニ基クモノト考ヘルノデアリマス、
ソコデ思想戰線ニ於キマシテモ、今日行政
機關トシテハ、九ツノ機關ニ分屬シテ居
ル、是ハ色々ナ事情ニ於テ已ムヲ得ナイト
思フノデアリマス、隨ヒマシテ之ヲ合一、
統一シテ行カレル爲ニハ、第二ノ方法ニ依
ツテ行クノガ宜イノデハナイカト考ヘルノ
デアリマス、即チ思想總本部の組織ヲ作
ラレマシテ、總理大臣又ハ文部大臣等ガ其
ノ首腦ノ位置ニ御就キニナル、サウシテ其
ノ新シイ組織ノ力ニ依リマシテ國內ノ總テ
ノ政府組織、地方ノ民間組織ト云フヤウナ
モノヲモ一手ニ指揮シテ行クト云フコトニ
ナツタナラバ宜イ、斯様ニ考ヘルノデアリ
マス、過日來本委員會ニ於キマシテモ、此
ノ思想戰線ノ統一ヲ必要トスルト云フ理念

ノ問題タル思想戰線ノ統一ノ問題ニ付キマ

シテハ、私茲ニ具體的ナ一、二ノ案ヲ申上
ゲテ御批判ヲ仰ギタイト思フノデアリマス、
平時ノ行政體制ヲ戰時ノ統帥體制ニ移シマ
スルニ付キマシテ、私ハ二ツノ方法ガ現在
實施サレテ居ルト思フノデアリマス、其ノ
一ツハ、過般御採用ニナリマシタ軍需省ノ
創設、竝ニ運輸通信省ノ創設ト云フヤウナ
風ニ、平時行政上各省ニ屬スル業務中、關
係ノモノ總テ一人ノ大臣ノ下ニ纏メテ
シマフト云フ行キ方、是ハ最モ徹底シ
タ行キ方ダト存ズルノデアリマス、
第二ノ問題ハ現在武力戰ノ面ニ於テ實行サレ
テ居リマスル如ク、行政組織ノ外ニ統帥組
織ヲ作ツテ、サウシテ關係ノ行政組織ヲ其
ノ統帥ノ方面ニ於テ掌握指揮スルト云フノ
デアリマス、即チ陸軍省ト海軍省ト大本營
トノ關係ハ、此ノ後者ニ屬スルト存ズルノ
デアリマス、更ニ先般國土防衛ニ關シマシ
テ、内務省ニ防空總本部ガ出來マシタ如キモ、
此ノ思想ニ基クモノト考ヘルノデアリマス、
ソコデ思想戰線ニ於キマシテモ、今日行政
機關トシテハ、九ツノ機關ニ分屬シテ居
ル、是ハ色々ナ事情ニ於テ已ムヲ得ナイト
思フノデアリマス、隨ヒマシテ之ヲ合一、
統一シテ行カレル爲ニハ、第二ノ方法ニ依
ツテ行クノガ宜イノデハナイカト考ヘルノ
デアリマス、即チ思想總本部の組織ヲ作
ラレマシテ、總理大臣又ハ文部大臣等ガ其
ノ首腦ノ位置ニ御就キニナル、サウシテ其
ノ新シイ組織ノ力ニ依リマシテ國內ノ總テ
ノ政府組織、地方ノ民間組織ト云フヤウナ
モノヲモ一手ニ指揮シテ行クト云フコトニ
ナツタナラバ宜イ、斯様ニ考ヘルノデアリ
マス、過日來本委員會ニ於キマシテモ、此
ノ思想戰線ノ統一ヲ必要トスルト云フ理念

ニ基イテ色々意見ガアツタノデアリマスルガ、更ニ一、二ヲ申シマスレバ、先般ノ御話ニ僑侶ノ動員ト云フコトガアツタノデアリマスルガ、處ガ僑侶ト殆ト同ジ立場ニアル神官ノ方々ノ動員ニ付テハ、神官ガ内務省ニ所屬シテ居ルト云フヤウナコトデ、中々思フヤウニ行カナイデハナイカト思ハレマスシ、現實ニ地方ニ於キマシテハ僑侶ト神官トノ間ガ、動モスルト相剋ヲ來スヤウナ虞モナイデハナイノデアリマス、又民間組織ト致シマシテハ翼政會、大政翼贊會又ハ翼贊壯年團ト云フヤウナモノガ、動モスレバ相剋スルヤウナ事例モナイデハナイノデアリマシテ、斯様ナ意味ニ於キマシテ私ハ此ノ際決戰體制ト致シマシテモ、是非斯様ノ組織ヲ作ツテ戴ク必要ガアルト思フノデアリマス、而シテ此ノ思想戦線ノ統帥機關ハ、理想カラ申シマスレバ、私ハ武力戦ト思想戦トノ密接ナル關係ヨリ大本營ノ中ニ入ルノガ一番宜イト思フノデアリマスルガ、是ハ色々事情モアリマセウカラ、私ハ大本營以外ノ組織、内閣直屬又ハ防衛總司令部ト云ツタヤウナ姿ニ於テ出來マスルコトガ、一番實現ガ容易デヤナイカト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ大臣ノ御所見ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

○岡部國務大臣

只今堀内委員ヨリ思想戦線統一ノ必要ヲ熱心ニ御開陳ニナリマシタ、一々拜聽致シ、其ノ具體案トシテ思想戦本部ト云フヤウナモノヲ内閣ノ中ニ設ケテ、官民ヲ通ジテ思想ノ統一ヲ圖リ、ソレガ戦力増強ニ集中スルヤウニト云フ御趣意ニ拜聽致シタノデアリマス、此ノ御考ヘハ私個人トシテハ非常ニ共鳴スルモノデアリマ

ス、既ニ内閣ニ於テモ思想問題ガ重要デアルコトハ、十分ニ認メテ居ル譯デアリマス、先般ノ總理ノ施政演說ニ於テモ、外務大臣ノ演說ニ於テモ、大藏大臣ノ演說ニ於テモ、豫算總會其ノ他凡ソル機會ニ於テ精神昂揚ノ思想問題ノ非常ニ重大デアルト云フコトハ異口同音ニ強調サレテ居ルノデアリマス、又議員諸君ノ御質問ニモ、其ノ點ハ非常ニ多カツタヤウニ拜承スルノデアリマス、事實我々ハ此ノ戦局ガ段々苛烈ニナルニ從ヒマシテ、國民思想ヲ統一シテ、益之ヲ強化シ、茲ニ矛盾相剋等ノナイヤウニシテ行クコトガ必要デアルト痛感シテ居ルノデアリマス、マダ政府ト致シマシテハ、今御述ベニナリマシタヤウナ機關ヲ設ケルコトニ付キマシテ、具體的ナ相談ハ致シテ居リマセヌガ、併シ既ニモウ内閣ニ於キマシテモ各官省ノ者ガ時々集マリマシテ、事務的ニ連絡ヲ取ルト云フコトハ、先達テノ答辯ノ中ニモ政府委員カラ申シマシタ通りデアリマス、ソレモ既ニ其ノ方ニ向ツテ一步進ンデ居ルト云フコトニ御承知ヲ願ヒタイノデアリマス、併シ御趣意ノアル所ハ總理ニモ能ク傳ヘマシテ、出來ルダケサウ云フヤウナコトガ具體化スルコトヲ私モ希望シ、又期待ニ副フヤウニ努力シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○堀内委員

只今文部大臣ノ御答辯ヲ拜聽致シマシテ、私ハ非常ニ心強ク感ズルノデアリマス、ドウゾ、今後共御健闘ニナリマシテ、大臣ノ仰セラレタ世界ニ恐レヲナサセルヤウナ文部省ニスルノダト云フ、此ノ御抱負ノ實現ヲ御祈リ申上ゲテ置キマス

○薩摩委員

文部大臣ガ御出席ニナツテ居ラレマスノデ、洵ニ簡單ナコトデアリマス

方、唯一言此ノ前ニ私ガ質問シマシタ法文科系統、理工科系統ノ學生ノ入學ニ關スル點トシテ御質問致シタイノデアリマス、ソレハ理工科系統、法文科系統ノ學生ノ將來ノ養成ノ割合ヲドウナサイマスカト云フコトデアリマスガ、文部大臣ガ一月十日ニ京都ニ御滞在中ニ、新聞記者ニ御話ニナツタ記事デアリマス、朝日新聞ニ載ツテ居ルノデアリマスガ、見出シハ科學動員今ヤ幕進ト出テ居リマスガ、其ノ大臣ノ談トシテ、法文科系ハ八、理工科系ハ二ト云フ、斯ウ云フ過去ニ於ケル偏頗ナ我が國ノ學園ノ配置系統ヲ、此ノ際ニ正シテ行キタイ、幸ヒニ臨時措置方策ニ依ツテ法文科系五、理工科系五ト云フ所マデ漸ク持ツテ行ツタ、併シマダ是カラ私ガ構想スル所ノ法文科系二、理工科系八ノ割合ニマデ到達スルニハ、愈ニカラガ大變ダト思フト云フ文相ノ記事ガ出テ居ルノデアリマス、勿論今日ノ時局、科學戰ノ時ニ於キマシテハ、理工科ハ實ニ重大ナル役目ヲ務メルモノデアルトハ當然デアリマスルガ、現在ニ於テ官學私學ヲ通觀致シマス、大體法文科系統ハ八五%、理工科系統ハ一五%ト云フコトニナツテ居リマスガ、ソレガ今度全然反對ニナツテ行クト云フコトハ、必要デハアルカト思ヒマスケレドモ、此ノ前ノ質問ノ時ニモ申シマシタ通り、大東亞共榮圈ヲ建設スル上カラ言ウテモ、精神文化ヲ基礎トセル我が國ノ生成發展ノ跡カラ見マシテモ、此ノ比率ノ割合ヲ決定スルト云フコトハ、文教ノ上ニ於テ重大ナル問題デアルト思ヒマスシ、精神文化ヲ常ニ基礎トシテ居ル我が國家トシテハ、此ノヤリ方ニ於テ若シ一步ヲ誤ツタラバ、重大ナル影響ヲ國家ノ將來ニ及ボスト思ヒマスノデ、

○岡部國務大臣

此ノ匡正ノ割合ト云フコトニ對スル文部大臣ノ御考ヘヲ此ノ際ハツキリシテ載イタガ、國家ノ將來ノ上ニモ非常ニ參考ニナルト思ヒマス、此ノ一點ダケヲ御伺ヒシタイ

○薩摩委員

薩摩委員ノ御質問ニ御答ヘ致シマス、京都ニ於ケル其ノ新聞ノ記事ハ多少話ニ聽キ違ヒガアリマスノデ、サウ云フコトヲ私ハ言ツタノデアリマセヌ、理工科系統ト法文科系統トハ、兩方トモ重要デアルトハ申スマデモナイノデアリマシテ、其ノ比率ハ確カニ間違ツテ居ルト申シテ差支ヘナイト思ヒマス、併シ如何ナル比率ガ適當デアルカト申シマスルコトハ、法文科系統ト理工科系統、理工科系統ト申シマシテモ、其ノ内譯モ色々アル譯デアリマシテ、是等ニ付テハ時局ノ要請ハ勿論ノコト、國家ノ將來ノコトモ考ヘ合セマシテ、入學募集定員ト云フ問題ニ付テハ一定不變ノモノガアルトハ私ハ考ヘマセヌガ、大體ノ數字トシテハ、其ノ時代ノ國家ノ要請ヲ考ヘマシテ、適當ニ隨時決定シテ行カナケレバナラヌ問題ト思フテ居リマス、是ハ全ク私個人ノ考ヘデハゴザイマスケレドモ、大體ニ於テ半々トカ、或ハ多少理工科系統ノ方ヲ多クスルト云フ位ノ程度ガ、平素ニ於テハ考ヘラレルノデハナイカト云フ風ニ思フテ居リマス、ソレニ付キマシテ今年ノ入學定員ハ御承知ノ通り高等學校ハ法文科系統ハ三分ノ一ニ減シ、專門學校ハ二分ノ一ニ致シタノデアリマス、此ノ割合ハ、今申シマシタヤウニ、官立ニ於テハ八二二位ニナルカモ知レマセヌ、併シ私立大學ノ方ヲ合セマス、無論マダ法文科系統ノ半分ニモ達シナイト考ヘマスガ、何分ニモ理工科系統ノ方ハ經費ハ掛リマスケレドモ、人員

ハ收容力ガ少イノデアリマス、法文科系統ノ方ハ一人當リノ經費ハ少クテ、收容力ハ非常ニ多イノデアリマス、理工科系統ヲ殖ヤスト申シマシテモ、中々簡單ニ殖ヤシ得ナイ事情モアリマス、今年ノ官立學校ノ實情ハサウ云フヤウニ考ヘマスガ、全般トシテハ無論ソコマデ至ツテ居リマセヌ、又サウ云フヤウニヤラウト云フ考ヘガアル譯デモアリマセヌ、今年ノ入學募集定員ハ、大體官私ヲ通ジテ高等學校或ハ大學豫科ハ三分ノ一、專門學校ハ二分ノ一ト云フ程度デ決定シタ譯デアリマス

○小柳委員長 外ニ質疑ハゴザイマセヌカ
〔質疑ナシト呼ブ者アリ〕

○小柳委員長 質疑ナシト認メマス、是ニテ質疑ハ全部終了致シマシタ、是ヨリ大日本育英會法案外二件ノ討論ニ入りタイト思ヒマス

○永山委員 討論ヲ省略シテ直チニ採決ニ入ラレンコトヲ望ミマス

○小柳委員長 永山君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○小柳委員長 左様決定致シマシタ、大日本育英會法案外二件ニ賛成ノ方ノ御起立ヲ願ヒマス

〔賛成者起立〕

○小柳委員長 起立總員、三案トモ原案ノ通り可決致シマシタ(拍手)此ノ場合一言御挨拶ヲ申上ゲタイト存ジマス、本委員會ニ付託セラレマシタ大日本育英會法案外二件ハ、連日ニ互リ而モ長時間ニ互リ、極メテ熱心ナル御審議ノ結果、茲ニ滞リナク議了致シマシタコトハ、洵ニ欣快ニ堪ヘナイ所デアリマス、此ノ間ニ御示シニ相成リマシタ所

ノ非常ニ高邁卓抜ノ御意見ハ、戰時下ニ於ケル日本ノ文教政策ニ寄與スルコトガ非常ニ多イト云フコトヲ確信シテ居ルノデアリマス、唯惜ムラクハ私ガ議事極メテ不慣レデアリマシテ、色々不便ヲ皆サンニ御與ヘシタノミナラズ、又失禮ナ廉モ多々アツタト存ジマスルガ、ソレニモ拘リマセズ職責ヲ果シ得マシタコトハ、一ニ皆サンノ御厚情ノ然ラシムル所ト存ジマシテ、有難ク御禮ヲ申上ゲル次第デアリマス、茲ニ本委員會ヲ閉ヅルニ當リマシテ、各位ノ御精勵及ビ私ニ寄セラレタル御好意ニ對シマシテ、甚深ノ謝意ヲ表スル次第デアリマス、是ニテ散會致シマス
午後零時十五分散會